

第36回東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試合日 2023年2月11日
会場 エコパアリーナ
コート Aコート
開始時間 16:30

TEAM A		TEAM B
藤枝明誠 (静岡)	68	48 富田 (岐阜)
	14 - 6 13 - 14 13 - 16 28 - 12 OT	

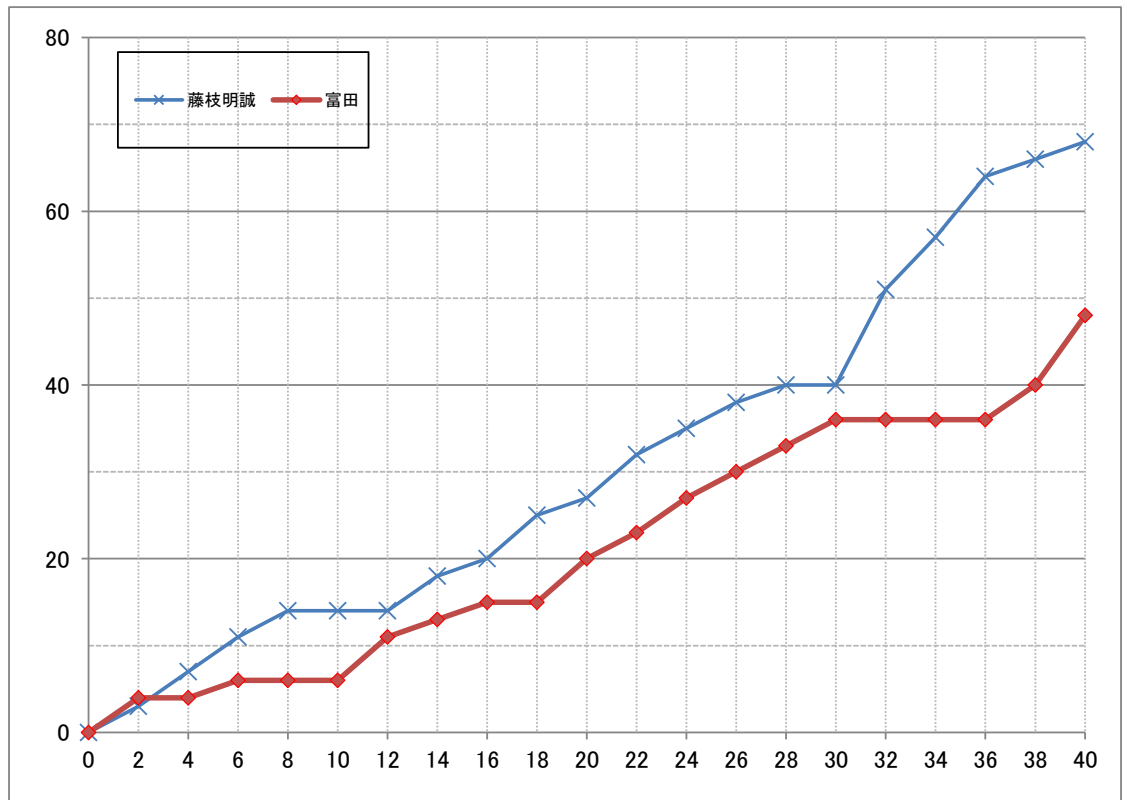
TEAM A 藤枝明誠 (静岡)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
1	DNP	野田 遼 聖	0	0	0	0	0
3		渡 邊 虹 道	0	0	0	0	2
9		大 浦 武 蔵	0	0	0	0	0
12	*	赤 間 賢 人	29	6	4	3	3
13	DNP	荒 井 栄 大	0	0	0	0	0
16	DNP	渡 辺 倫 久	0	0	0	0	0
17	*	小 澤 朋 樹	17	2	5	1	0
21	*	大 塚 絢 心	3	0	1	1	0
26		鬼 倉 拓 司	2	0	1	0	2
28	DNP	早 津 奨 吾	0	0	0	0	0
34	DNP	高 橋 星 名	0	0	0	0	0
69		白 崎 上 総	2	0	1	0	1
88	*	天 田 虎 之 介	2	0	1	0	2
91		遠 藤 新	0	0	0	0	0
99	*	ボス ロード プリン ス テノ ソ	13	0	6	1	3
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			68	8	19	6	13

TEAM B 富田 (岐阜)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		岩 本 耀 大	1	0	0	1	0
5	*	保 坂 幹 希	15	1	5	2	1
6	*	シ セ ア サ ン	10	1	3	1	5
7	*	阿 部 瑛 里 桜	5	0	2	1	3
8		高 木 元 道	4	0	2	0	4
9	DNP	高 堂 信 虎	0	0	0	0	0
10	DNP	梶 原 理 央	0	0	0	0	0
11	*	山 岸 直 史	4	0	2	0	1
12	DNP	久 保 田 伊 吹	0	0	0	0	0
13	DNP	吉 永 清 竜	0	0	0	0	0
14	DNP	遠 藤 寛 太	0	0	0	0	0
15	DNP	近 藤 伶 哉	0	0	0	0	0
16	DNP	大 場 優 輝	0	0	0	0	0
17	DNP	野 崎 煌 弥	0	0	0	0	0
18	*	畑 尻 史 人	9	1	2	2	1
TEAM/COACH			/	/	/	/	2
TOTAL			48	3	16	7	17

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1Q
藤枝明誠はマンツーマン、富田は2・3ゾーンディフェンスでスタート。1回戦を勝ち上がった富田は#6アサン、#18畑尻の連続得点で先制する。対する藤枝明誠は#17小澤のスリーポイント、レイアップで決め返す。富田は積極的にドライブから得点を狙うが、藤枝明誠#99ロードプリンスの高いディフェンスを前に得点できない。藤枝明誠は富田のスクリーンプレーを確実に止め、#12赤間のスリーポイントやブレイクで加点する。両チームともにディフェンスでプレッシャーをかけ、一進一退の状態が続く中、富田#6アサンがテクニカルファールを取られる。両チームともシュートがなかなか決まらず、14-6と藤枝明誠リードで1Q終了。

2Q
両チームともディフェンスを変えずにスタートする。富田#11山岸のミドルシュート、#6アサンのダンクシュート、#5保坂のドライブからのシュートと連続で得点を決め、流れをつかもうとする。対する藤枝明誠も#99ロードプリンスのバスケットカウントやゴール下から得点を決め、残り5分で富田がタイムアウトを取る。その後も両チームともハーフコートディフェンスを崩すことができず、互いにシュートも決まらず重い展開が続く。終了間際に富田#6アサンがゴール下を決め、27-20となり、藤枝明誠リードで2Q終了。

3Q
開始早々、藤枝明誠#17小澤のミドルシュートで先制し、対する富田も#18畑尻スリーポイントで決め返す。一進一退の状態が続く中、富田#5保坂、#18畑尻が連続で得点を上げ、藤枝明誠も#12赤間がスリーポイントを2本連続で決め返す。その後、藤枝明誠はリズムに乗ると見えたが、富田のゾーンディフェンスに対して、スリーポイントシュートがなかなか決まらない。対する富田は#6アサンのゴール下やスリーポイント、#7阿部のバスケットカウント等で食らいつき、40-36と藤枝明誠リードで3Q終了。

4Q
藤枝明誠は#12赤間のスリーポイントが入り始め、#99ロードプリンスがバスケットカウントを決め、51-36となったところで富田はたまたまタイムアウトを取る。タイムアウト明けも、藤枝明誠は厳しいディフェンスから攻撃のチャンスをつかみ始め、藤枝明誠#12赤間、#99ロードプリンスが連続で加点し、攻撃の手を緩めない。富田も攻撃のきっかけをつかもうとするも、なかなか攻めの糸口をつかめない。残り5分、富田#6アサンは藤枝明誠#99ロードプリンスに5つ目のファールをしてしまい、退場する。藤枝明誠は激しいディフェンスから相手のミス誘い、#17小澤がスリーポイント、ブレイクから連続で得点を決め、残り4分に富田はタイムアウトを取る。タイムアウト明け、富田#5保坂のドライブからバスケットカウントや、スリーポイント等を決め、攻撃の勢いに乗ろうとするが、藤枝明誠の勢いは止まらずにさらに点差を広げ、68-48と藤枝明誠が勝利した。